



教育目標～夢をもち 心豊かに ともに未来を切り拓く～

きたおか

令和3年(2021年)8月25日
豊中市立北丘小学校
学校だより NO.8

さあ、2学期のスタートです！

35日間の夏休みが終わり、学校にこどもたちの笑顔と元気な声が戻ってきました。教室の中や廊下には、こどもたちが夏休み中に取り組んだ学習や活動の成果がならんでいます。こどもたちそれぞれが立てた計画の実行やご家族と過ごした有意義な時間から、心も体もぐっと成長したはずです。

一方で、新型コロナウイルス感染症の変異株が広がり、厳しい状況下での新学期の始まりとなりました。こどもたちの「学び場であるとともに居場所」である学校の安全が守っていただけるように教職員一同気を引き締めて、感染予防対策と教育活動の両方を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



あらためてのお願いです。



学校では今まで以上に
手洗いの徹底・距離をとる・マスクの着用（体育は除く）の基本的な感染予防対策と換気をしっかり行い、給食時の黙食を徹底していきます。

また、保護者の皆様のご協力も今まで以上に必要な状況です。ご家庭でも、毎日の健康観察と検温を必ず行っていただきますようお願いいたします。健康観察カードは必ず、保護者の方が記入してください。

同居のご家族の方に発熱などのかぜ症状がみられる場合や PCR 検査を受けることになった場合には、お子様を登校させないようにお願いいたします。

お子様の登校後、学校で発熱をはじめ体調が悪くなった時には、おうちのかたに連絡をさせていただきますので、連絡がつくようにご協力をお願いいたします。早退になった場合には速やかなお迎えをお願いいたします。

あわせて、お子様の登校について不安がある場合には、遠慮なく学校にご相談ください。



通路の扉がきれいに！遊具塗り直しの予定も。

夏休み中、北丘小の用務員さんが校舎の通路にある扉をきれいに塗り直してくださいました。
また、豊中市の小中学校の用務員さん方が集まって、運動場の遊具にやすりをかけ、塗り直しの準備作業を行ってくださっています。用務員さん、ありがとうございます！！

教育実習・大阪大学教育実践演習 大阪大学パワーアップボランティア スクールサポーター



教育実習は2名で、4年1組と1年3組に入ります。期間は9月9日から10月8日までの4週間です。この間に子どもたちと関わり、学校教育の良さを実感して、現在なり手の少ない教職に就いていただきたいと思います。

また、阪大から教職をめざしている1・2年生が4名、教育実習を終えた4年生が1名、主に9月中旬から10月にかけてボランティアとして来ます。子どもたちとは、授業や休み時間を一緒に過ごし、活動してもらおうと思います。また、昨年度より引き続き活動しているスクールサポーターの学生さんに加え、もう一人スクールサポーターが増え二人になりました。こちらも授業中と休み時間に子どもたちと関わっています。

お盆の大雨では、九州や中国地方に大きな被害がありました。犠牲になられた方もおられ、心が痛みます。毎年のように起きる河川が氾濫するほどの大雨。そして40℃近くにもなる気温。これも気候変動の影響として私たちの身近で起きていることの一つと言えます。

SDGsという言葉を目にしたたり、カラフルな17の達成目標を目にしたたりすることもあるかと思います。SDGs(エス・ディー・ジーズ)は「Sustainable Development Goals」の頭文字と最後のsをとったもので、直訳すると「持続可能な開発目標」となります。これでは難しく意味が分かりづらいですね。もう少しわかりやすく、豊中市ふうに言い換えると「これからはずっとみんなが幸せに暮らせるようになるための目標」ということになります。

豊中市は、2020年に「40万人のとよなか未来バトン」というキャッチフレーズを持ち、「SDGs未来都市」に選定されています。身近に起きていることだけでなく世界中で何が起きているか知ることで私たちは、「心の姿勢」を決めることができると思います。

これからの未来を生きる子どもたちのために、どのように気候変動を抑えていけばいいでしょうか。それは、私たち大人一人ひとりがどんな選択をしていくかにかかっていると思います。環境を守ることに無関心でいられる人がいても、無関係でいられる人はいないと言います。そして子どもたちには、北丘小の育てたい子どもに「自分と他者の命を大切にする子」とあるように、離れたところで起きていることについても想像力を巡らすことのできる「自分と他者に優しくなれる人」になってほしいと思います。

